

人・社会視点から新しい価値創造をめざす「人間中心イノベーション」エッセンスを習得！

## 「東京大学 i.school」と提携した企業向けイノベーション人材育成プログラム

2016年8月26日より、東京大学本郷キャンパス「i.school スタジオ」で開講します

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：山口範雄）は、「東京大学 i.school（アイスクール）」と提携し、企業人を対象としたイノベーション人材育成プログラムを2016年8月に新たに開講します。

「東京大学 i.school」は、2009年にスタートした東京大学 知の構造化センターが主宰するイノベーション創出のプロセスやデザインを学ぶプログラムです。東京大学のほか、海外の有名大学からも学生が参加するなど、イノベーション教育分野で高い人気を誇っています。

日本能率協会では、全11日間におよぶ学生向けプログラムを企業人向けに再編成し、全3日間に短縮したより実践的なプログラムを提供します。主な対象は、企業で新たな価値創造や新規事業開発を担当する方で、第1期となる2016年度は各回30名、延べ90名での実施を見込んでいます。

初回は2016年8月26日（金）で、第2回は2016年10月21日（金）、第3回は2017年1月13日（金）。すべての会合への参加が基本となりますが、1回ごとの参加も可能です。

参加料（税抜）は、全3回で1人あたり 日本能率協会 会員30万円、会員外33万円（1回ごとの参加料は、1名あたり 日本能率協会 会員が10万円、会員外は11万円）。申し込み締め切りは2016年8月19日（金）。問い合わせは日本能率協会 経営人材センター（TEL：03-3434-1955）まで。

### 概要

名称：東京大学で人間中心イノベーションを学ぶ  
～新しい価値創造のための人材育成プログラム～

会期：第1回：2016年8月26日（金）

第2回：2016年10月21日（金）

第3回：2017年1月13日（金）

いずれも10時～17時

会場：東京大学本郷キャンパス内＜i.school スタジオ＞

参加対象：新しい価値創造、新規事業開発を期待されている方（部門不問）

参加料金：【全3回】日本能率協会会員 30万円／1人（税抜）、会員外33万円／1人（税抜）

【1回毎】日本能率協会会員 10万円／1人（税抜）、会員外11万円／1人（税抜）

定員：各回30名（最少催行人数6名）

申込：日本能率協会ホームページ <http://jma-ischool.com> または、電話 03-3434-1955 まで

締切：2016年8月19日（金）※定員に達した場合、その時点で締切りになります。



東京大学 i.school でのワークショップ風景

### 【本件の内容に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 経営人材センター（担当：石川）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14階

TEL：03-3434-1955 E-mail：Tadao\_Ishikawa@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします。

## ■企画の背景

昨今、多くの経営者から、新事業開発やイノベーション教育についての課題を耳にします。日本能率協会が2014年に日本企業279社に聞いた調査(※)では、約6割の企業が国際競争力の視点からみて「事業創造力は不足している」と回答。事業創造活動の仕組みの課題として、「新事業の種となる社会や顧客の潜在的な課題とニーズを探索する仕組み」(86.0%)「事業創造を牽引できるリーダーの発掘・育成・活用」(85.6%)を2トップにあげていることから、日本企業にとって事業創造を担う人材への不足感が伺えます。

また、イノベーション創出には、技術革新の側面のみならず、人や社会への洞察、理解、そして想いが不可欠です。技術革新による社会の変化の中にあっても、イノベーション創出の鍵は人間にあると考えます。

本プログラムは、「人間中心イノベーション」を掲げる東京大学 i.school の協力のもと、人・社会視点からのイノベーション創出の価値観と仕組み(プロセス)に着目し、疑似体験を通してイノベーション創出のエッセンスを習得いただく構成としています。

※第36回企業の経営課題 [事業開発編] 事業創造活動の仕組みづくり

## ■プログラム

第1回	2016年8月26日(金) 10:00-17:00
テーマ	集合知サービスのイノベーション アマゾンのおすすめ商品のような既存の集合知サービスの事例を分析。 アナロジー思考に基づいて、新しい集合知サービスを発想する。
ねらい	・ワークショップのプロセスの重要性を理解する。 ・新しさを生み出すメカニズムの具体例としてのアナロジー思考を理解する。
第2回	2016年10月21日(金) 10:00-17:00
テーマ	ビジネスチャンスを生む余暇時間のイノベーション 余暇時間の特殊な使い方をしている事例を探し、その事例を分析。 分析結果に基づき、新しい余暇時間の過ごし方を発想する。
ねらい	・エクストリームユーザー・リサーチとそこから本質的な知見を抽出する手法を習得する。 ・電子付箋紙ツール (APISNOTE) を利用した、情報の整理の仕方を学ぶ。
第3回	2017年1月13日(金) 10:00-17:00
テーマ	ミドル人材のイノベーションスキル向上 第1回、第2回の作業を題材として、若手社員のイノベーションワークショップを マネジメントするミドル人材が身に付けるべきスキルを習得する。
ねらい	・APISNOTE を使い、ワークショップの進捗状況を把握し適切なコントロールを行う方法を学ぶ。

### ※受講について

参加者は、全3回のワークショップすべてに参加することをお奨めします。各ワークショップは1回ごとに完結するため、1回ごとの参加も可能。

第3回目は、自社でのイノベーション創出の展開をより効果的にするため、幹部、マネージャークラスの参加をお奨めします。

## ■講師：堀井秀之 氏

東京大学 i.school エグゼクティブ・ディレクター。東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授。1980年東京大学工学部土木工学科卒業、ノースウェスタン大学大学院修士課程・博士課程修了。専門は社会技術論、国際プロジェクト論、イノベーション教育論。i.school エグゼクティブ・ディレクターとして、i.school 運営を統括する。東京大学 知の構造化センターではセンター長として、分散する知の構造化と価値化をテーマに研究開発を推進。著書に「問題解決のための『社会技術』」(中公新書)、「社会技術論：問題解決のデザイン」(東京大学出版会)など。

## ■東京大学 i.school 概要

2009年より東京大学 知の構造化センターの教育プログラムとして、新しい製品、サービス、ビジネスモデル、社会システム等を生み出す力や価値創造力の向上などを目的にしたイノベーション教育プロジェクト。

東京大学の学生を中心とした20~30人の参加者によるワークショップから構成される。1年間にわたりレギュラーワークショップや夏休み期間中のサマープログラム、特別ワークショップなどを行っています。

プロダクトデザインを中心とせず、サービスデザイン、社会的企業のデザインなど、様々なテーマをバランスよく取り上げていることが大きな特徴。<ご参照：<http://ischool.t.u-tokyo.ac.jp>>

以上